

# むすび丸新聞

## 2023年2月号



笑顔咲かす  
伊達な旅  
仙台・宮城

企画協力：仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会  
むすび丸新聞編集室  
（河北新報社営業局内 TEL.022-211-1318）



### むすび丸新聞って？

むすび丸は仙台・宮城のおいしいお米でふっくら炊き上げた『おむすび』顔に、『伊達政宗のかぶと飾り』が特徴の、仙台・宮城観光PRキャラクターです。いろいろな場所に出掛けて、宮城県の観光をPRすることがお仕事。隔月で、むすび丸が仙台・宮城の旬な魅力をお届けします。

子どもから本格派まで  
存分に遊べるスノーリゾート

泉ヶ岳北東部に位置し、仙台市街地から車で約15分、アクセスが良好な「スプリングバレー」仙台泉スキー場。ゲレンデ内にはリフト4基、12コースが設けられ、最長滑走距離1400m、最大斜度36度と、スノースポーツ初心者から上級者まで幅広く楽しめます。ナイター営業も毎日夜10時まで行っており、毎週金・土曜は1時間



スプリングバレー仙台泉スキー場



冬の宮城は  
楽しいが  
たくさん♡

仙台市街を起点に、海山の醍醐味を体感する真冬のプチドライブへ。

# スポーツで体を温め、産地が誇る味わいに満足 雪が彩る仙台近郊のドライブを！

スノーレジャーに絶好のシーズンを迎えた山並みを目指し、暖かいハウスの中でたわわに実る完熟フルーツも存分に堪能。それぞれご当地自慢の特産品や味覚を求めて話題のスポットへ。震災後の港町に生まれた新たな魅力との出会いも。

※新型コロナウイルス感染症対策をしっかりと行い、安全に観光を楽しみましょう。



採れたてのいちご♡

培われた粒ぞろいの「ハナミガキ」や「よつぼし」といった品種が30分間食べ放題。いちごを堪能した後は、「やまもと夢いちごの郷」で地場産品のショッピングも楽しんで。

### より魅力を増して再開した 臨海のスポーツフィールド

東日本大震災で甚大な被害を受けた「名取市サイクルスポーツセンター」が多彩なアクティビティスポーツ施設として生まれ変わり、2020年10月にオープン。大人から子どもまで楽しめるよう、スポーツバイクや女性向け・子ども向け自転車のほか、セグウェイやおもしろ自転車を用意。市内へのサイクリングツアーも開催しています。閑上港食堂HACHHIでは洋食だけでなく「北限のしらす」が載ったしらす丼などがお薦めです。宿泊ができる名取ゆりあげ温泉

### 旬の甘酸っぱいいちごを 2つの農園で食べ放題

完熟の甘いいちごを存分に味わいたいなら、ぜひ山元町へ。山元町農水産物直売所「やまもと夢いちごの郷」では、いちご狩りが楽しめる町内二つの農園を案内してくれます。東北最大級の「山元いちご農園」では、「とちおとめ」の他、宮城県オリジナル品種の「もういっこ」と「にっこにべりー」を栽培。30分間の食べ放題で、味わいの違いを確かめることができます。

「ミガキイチゴ」のブランド名で知られる「ICHIGO WORLD」でも、丹念に栽培



いらんがたの  
自車が  
いっばい！

泉「輪りんの宿」では、蔵王連峰を一望する露天風呂で疲れた身体を癒やし、太平洋が目の前に広がる客室でゆっくりと過ごせます。

### 神社の境内に地場産品や グルメが集う市場が登場

日本三稲荷の一つに数えられる岩沼市の竹駒神社の境内に、飲食店や地場産品販売所などが集まる「たけこま市場」が昨年9月にオープン。コロナ禍で閉めていた参拝者休憩所を改装したもので、道の駅をイメ



参拝の後は  
楽しい  
お買い物♡



ージした地元の魅力発信の場になっていきます。人気ラーメン店「沼田商店 麺組」もハナトピア岩沼から移転オープンし、大いに話題に。仙台空港そばに工場を持つ「ちそうレトルト専門店」「NISHIKIYA KITCHEN」の商品や、地元ブランド米の志賀沢米など岩沼ならではのアイテムも数多くラインアップ。1日限定の特設店やキッチンカーの出店など、訪れるたび新鮮な味覚に出合えるのも魅力です。

## むすび丸の！おともだち紹介♡

ワイワイ  
ゆかいな!!

僕の仲間を  
みんなに  
紹介したいな!

### 【ホッキーくん】

山元町の特産品であるホッキ貝をモチーフにしたキャラクター。町の隠れた魅力を探ってアピールすることが趣味で、山元町PR担当係員に任命されています。



### 【カーナくん】

名取市が東北一のカーネーションの産地であることにちなんだマスコットキャラクター。カーネーションの「カー」と名取の「ナ」を取って名付けられました。



### 【岩沼係長】

岩沼市のマスコットキャラクターで、七三分けに眼鏡、作業服と安全靴がトレードマークのサラリーマン。「日本一、地に足のついた」キャラを目指しています。



### 【たがもん】

復元工事が進む多賀城の外郭南門をイメージした、観光協会のイメージキャラクター。本当の身長は12cmあり、特殊技能で現在のサイズになっています。



特別史跡多賀城跡では、米袋に付けたと思われる「黒春米（こくしやまい）」と書かれた木簡が出土。はるか昔から稲作が行われてきた歴史を背景に、多賀城市では稲の原

### 高貴な紫色に輝く古代米で 史都ならではの味わいを

種に近い古代米を使ったブランド商品「しろのむらさき」を開発しました。一般的なお米に比べてもちもちとしていて、ミネラルやアントシアニンなどの栄養素が豊富。独特の色合いや風味を生かしたお酒やお菓子などを販売しています。また、市内の飲食店でも古代米を使ったオリジナルメニューを提供しています。

### 日差しでキラキラと輝く 堤防に描いた庄巻のアート

震災後に造られた七ヶ浜町代ヶ崎浜地区の防潮堤に、色とりどりの「おはじき」を貼り付けて作った「よがさきおはじきアート」。地区の住民が中心となり、防潮堤アート実行委員会が2019年4月に発足。七ヶ浜のゆるキャラ、ぼっけのボーちゃんのイラスト作成者が原画を作成し、100以上にわたる壮大なアートの制作に取り組みました。子どもたちを小魚になぞらえ、松島湾から太平洋へ冒険に旅立ち、やがて大きなこいのぼりになるストーリーが描かれています。



おいしい古代米が  
買えるよ!

